

うちでのこづち

UCHIKOCHI

vol.54



プラザの新セクション紹介

経営サポートのプロフェッショナルが集結！
よろず支援拠点

企業インタビュー

支援を活用して業績アップを図る！
日伸工業株式会社
株式会社セブンワンツリーズ
近江化成工業株式会社



公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

INDEX

プラザの新セクション紹介	4
よろず支援拠点	
Top企業インタビュー	6
日伸工業株式会社	
支援企業インタビュー	10
株式会社セブンワンツリーズ	
近江化成工業株式会社	
プラザ25年度事業成果レポート	14
インフォメーション	16
滋賀の"ちいさな企業" 応援月間(10月)事業の紹介	
Topics	20
プラザと滋賀医科大学との協力協定	

プラザの新セクション紹介



経営サポートのプロフェッショナルが集結！

全国で6/2スタート

経営を
改善したい

売上を
拡大したい

現場を
改善したい

経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します！
お気軽にご連絡ください。

経済産業省では、平成26年度から、各都道府県に1箇所ずつ、地域の支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営相談に対応する「よろず支援拠点」を整備しました。
滋賀県では、産業支援プラザ内に開設。6月2日よりオープンしています。

「滋賀県よろず支援拠点」について

Q 1. よろず支援拠点の特長を教えてください。

→ 経営上のあらゆるお悩みについて、解決するまでとことんサポートします。

Q 2. 相談にはお金はかかりますか？

→ 全て無料で、何回でも相談できます。

Q 3. 事務所に来てもらうことはできますか？

→ 可能な限りどこへでも行きます。交通費のご負担も不要です。

Q 4. 予約が必要ですか？

→ 担当分野のスタッフが対応するため、できるだけ予約をお勧めします。

Q 5. 相談には何が必要ですか？

→ ご相談内容にかかる資料があればお持ちください。なければそのままお越しください。

Q 6. どんな人たちが相談にのってくれますか？

→ 売上増にかかる販売促進が得意なプロ、経営改善のプロなどが対応します。

Q 7. 電話やメールでの相談もOKですか？

→ メールでも電話でも丁寧に対応いたしますが、お越しいただけるのがベストです。

Q 8. 助成金のイロハも教えてくださいませんか？

→ 助成金をはじめ、様々な支援メニューをアドバイスします。

Q 9. 何故ここまでやるのですか？

→ 中小企業・小規模事業者の皆様が元気になることが、地域の活性化につながると考えているからです。

皆様のお越しをお待ちしています。



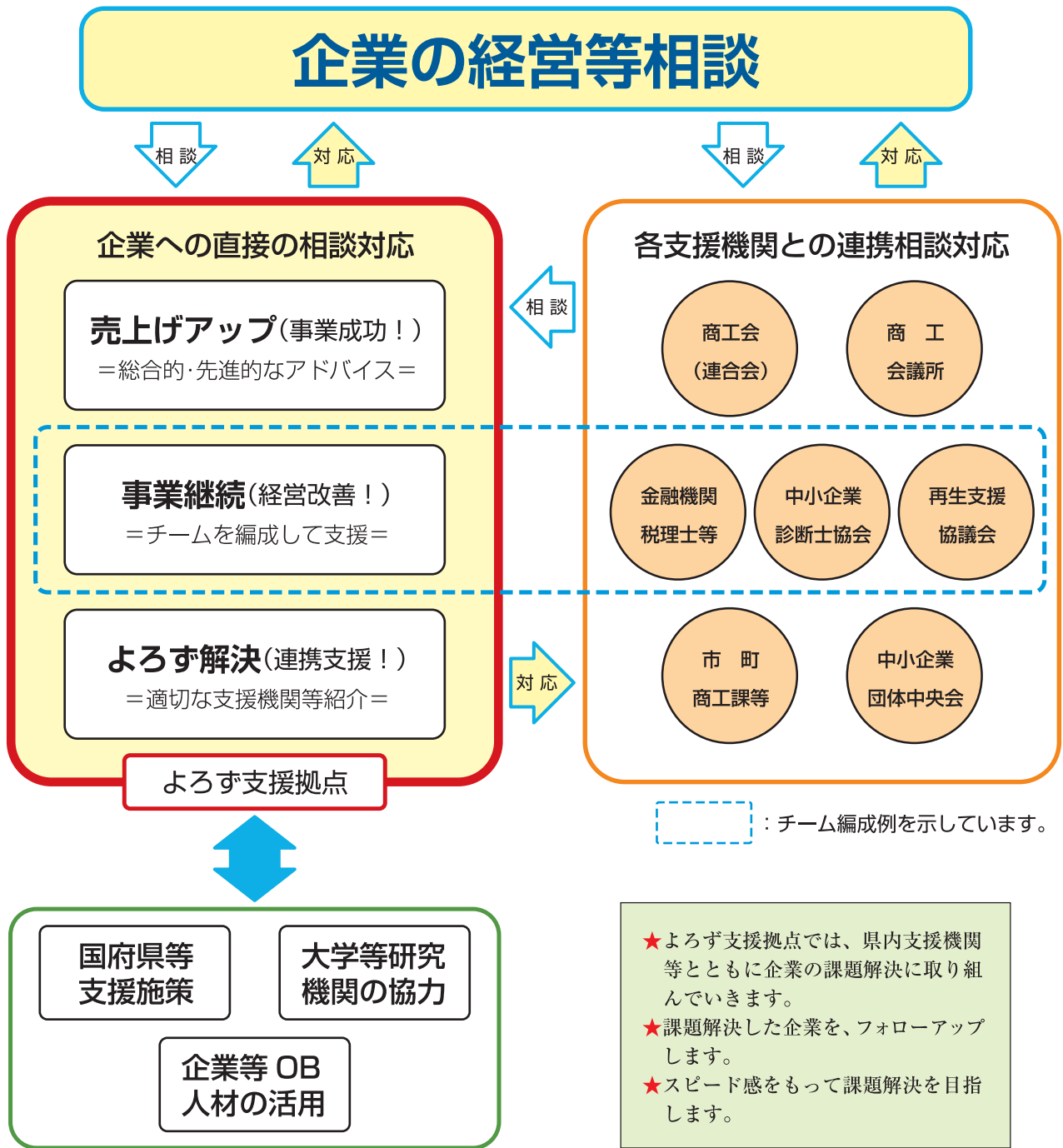
▲よろず支援拠点開設記念セミナー風景

お問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ内
滋賀県よろず支援拠点

住所：大津市打出浜2-1 コラボしが21 2階
TEL：077-511-1425 FAX：077-511-1418
E-mail：yorozu@shigaplaza.or.jp
URL：http://www.shigaplaza.or.jp/yorozu/

滋賀県よろず支援拠点の業務



相談

対応

：チーム編成例を示しています。

★滋賀県よろず支援拠点スタッフ（コーディネーター（C）、サブコーディネーター（SC））



事業連携担当：北村省一(C)



販路担当：久保修(SC)



事業計画担当：佐々木一幸(SC)



経営改善担当：三宅裕之(SC)



起業担当：西山彰子(SC)

Top企業インタビュー

高精度プレス加工技術を極め、グローバル生産で世の中に貢献する
「オンリーワン企業」を目指す

日伸工業株式会社 代表取締役社長 清水 貴之 さん



1959年、家電用ブラウン管の電子ビーム用部品を製造するメーカーとして設立。8割を占める主力製品の需要が無くなるという最難関の局面を、技術力と研究開発で切り抜け、「小物高精度プレス加工」技術を確立。現在ではグローバルな生産体制で、自動車の環境関連部品や家電・IT機器用の部品を生産。コストはより低く、機能はより高くをモットーに。品質を工程で作り込む不良“ゼロ”のものづくりを追求するとともに、その技術を支える人材の育成にも力を入れている。

プレス加工技術が役立つのではないかと、思い至ったわけです。

既存技術を活かして 新たな発展の道を切り開く

今のビジネスを始められた きっかけは？

設立56年目を迎える当社は、もともと家電用ブラウン管の電子ビーム用部品を製造していました。お客様から品質の高さを評価され、全製品の8割がブラウン管用部品で占められるほどの主力製品でした。1990年代には日本メーカーの海外進出に合わせ、当社もアメリカのオハイオ州に子会社を設立したのを皮切りに、順次、海外拠点を増やしていきました。その後、表示装置がブラウン管から

液晶の時代へと移行し、廃業する同業者が続出しました。当社では海外工場を閉鎖せずに残していましたが、日系メーカーのほとんどが当社のブラウン管用部品を使用することとなり、海外生産も繁忙を極めました。しかし、まもなくブラウン管の時代は終焉を迎えます。予想以上にあっけない幕切れでした。

さて、次に何をやるか？ 全社をあげて摸索していた時期に、ハイブリッドカーなど安全や環境に配慮した自動車が台頭し始めました。この新しい製品には、高度な機能を安定させるために多種多様な細かな部品が必要とされていました。そこに、当社がブラウン管電子ビームに用いていた小物精密

手探りで始めた研究開発ですが、ありがたいことにその段階でメーカーから多くの引き合いを戴きました。メーカー担当者から、「こうしたらどうでしょう」「こういうものが欲しいのですが作れますか」と助言やリクエストを戴いたこともあります。当社が永年培ってきた精密プレス加工の技術力、そしてモノづくりへの姿勢を、お客様から評価していただいたのではないかと考えています。こうして、「高精度プレス加工」を軸とする新たな事業展開が始まったわけです。

「高精度プレス加工」とは どういう技術ですか？

当社のコア技術としては、「金型設計製作(デザインイン)」「設

備設計製作(プレス機各種自動機)「プレス加工」「表面処理」「測定技術」の5つがあげられます。なかでも特に力を注いでいるのが、「高精密プレス加工」技術です。

ふつう、小型部品の製造において、型抜きや複雑な形状では研磨が必要となりますが、この場合、相応の加工時間がかかりますし、材料ロスも発生します。当社では、「板鍛造プレス」「深絞りプレス」という2つの「高精密プレス加工」技術を用いて加工しています。金属を切断・旋削などせずに常温で材料を流動させ成型する「深絞り」、板から金属を寄せて造形し成型する「板鍛造」は世界でも数社しか用いていない特殊技術で、工数が削減されるので飛躍的に生産性が高まります。また、削りカスなどのロスがないため材料歩どまりがよいのも利点です。

現在、当社の販売高の8割を占めているのが自動車関連部品で、エンジンやモーター、センサーなどの環境関連部品、ブレーキやエアバッグ、シートベルトなど安全関連部品、車載電池部品などに、当社のコア技術である「高精密プ



▲ショールームには、ブラウン管から最新の自動車部品まで精密プレス加工で作られた部品が展示されている

レス加工」を用いています。この技術は、コストの削除はもちろん製造エネルギーの低減化が図れることから、環境への貢献にもつながります。

グローバル生産と人材育成を重視

海外展開についてお聞かせください。

90年代、受注拡大していたブラウン管部品を作るため、アメリ

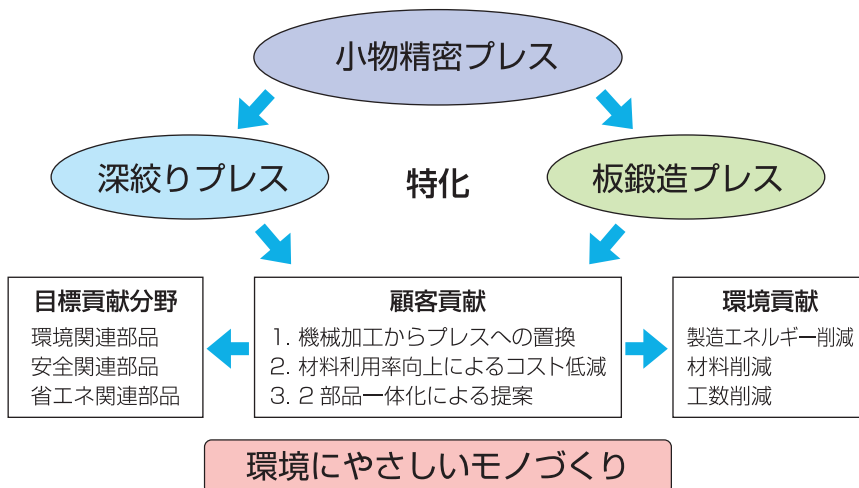
カ、シンガポール、インドネシア、中国、メキシコに、子会社等を設立しました。その後、ブラウン管需要の壊滅的落ち込みとともに各地からの撤退を模索したのですが、現地従業員への補償問題など、中小企業にとって海外からの撤退は容易ではありませんでした。ちょうどそのころ、海外での労働争議対策や事業撤退について、産業支援プラザさんにもご相談させてもらいました。

そのようなおり、新しい需要が沸き起こったわけです。現在、中国などでは製造も組立もすべて現地で行わなければならなくなってきています。当社は、自動車部品のプレス加工ベンダーとしては最後発ですが、加工から生産まで一括して出来るところが他に少なかったことが幸いし、日系自動車メーカーの部品製造を、残していた海外工場で請け負うことが出来ました。

人材育成にも力を入れておられますね。

日伸の技術は、人によって支え

加工技術コンセプト



られています。当社で半世紀にわたって培われてきた精密加工技術は、人から人に受け継がれ、また研究開発によって新たに作り上げられてきたものです。ですから、その技術を支える人材の育成や技能伝承には力を入れています。

当社では社員の資格取得を積極的に奨励しており、費用負担もしています。現在、滋賀県「近江の名工」5名、「近江若者マイスター」1名を輩出しており、ほとんどの社員が何らかの資格を取得しています。仕事に役立つだけでなく、取得のための努力を通して、チャレンジ精神や時代とともに変化するニーズに柔軟に素早く対応できる力が磨かれると思います。

新しい取り組み

※サポイン事業をうまく活用されていますね。

現在、高精密プレス加工技術の高度化を図るため、国のサポイン事業を活用して「高機能化複雑形状加工に対応可能な汎用プレス機

を用いた精密3次元形状プレス複合化技術の開発」という課題に取り組んでいるところです。産業支援プラザさんには、申請手続きや事業化の面でご支援をいただき感謝しています。世界的な厳しい競争環境のもとで、多くの中小企業にとって独自技術の獲得は決定的に重要だと思います。そのために、たゆまぬ「研究開発」が欠かせません。その研究開発に関する技術的指導と資金的援助、この2つのサポートをうまく結びつけていただけると、中小企業にとっては大変ありがたいですね。

高精密プレス加工の技術を極め、オンリーワン企業に

中小企業として生き残るためのビジョンは？

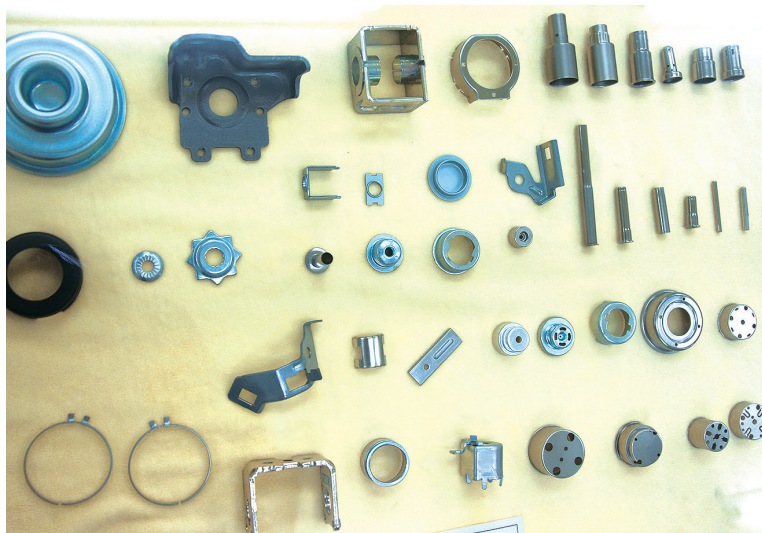
まず、当社の「高精密プレス加工」技術が生かせるものであれば、何でも作りたいと思っています。いま削って作っているものでも、プレス技術に替えればコスト削減はもちろん、もっと品質の良いものにできる自信があります。その



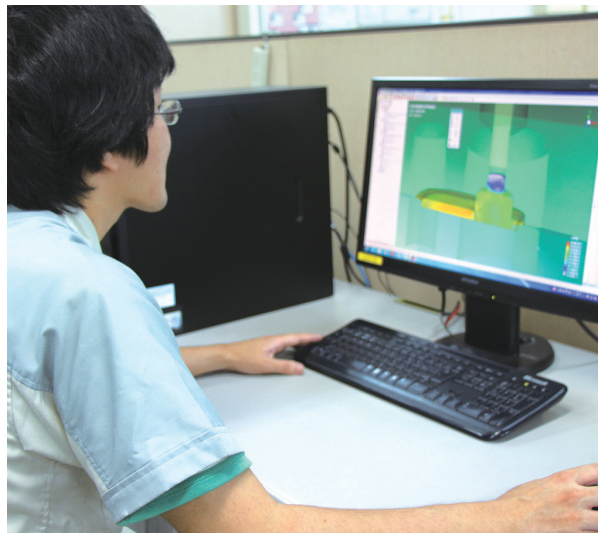
▲サポイン事業支援で購入したプレス機械

ためには、お客様と対話を重ね、ニーズを十分把握した上で、「高精密プレス加工」技術を用いた高品質のモノづくりの提案を積極的にしていきたいと考えています。「こんなモノをプレスで作りたいから、日伸に聞きにいこう」お客様にそう言ってもらえるような信頼関係を築いていきたいですね。

次に目指すのは「一貫生産システム」です。たとえば排気ガスセンサーやABSの基幹部品など、5年～10年以上使われている部品があります。製品のデザインが変わっても、機能的で共通して使え



▲高精密プレス加工技術を用いた自動車部品



▲技術向上のための研究開発にも余念がない

る部品を作りこんでおけば、いつでもどの企業の製品にも採用されます。またその金型に合ったプレス機械そのものも作っていきたいと考えており、これは既に取り組んでおります。自社での一貫した生産が可能となり、品質の安定・大幅なコスト削減・時間短縮につながります。

産業支援プラザさんには、受発注ビジネスマッチングの面でも何度かお世話になっていますが、産業構造の変化の中で、「下請け」という概念はなくなりつつあると思っています。当社のような中小企業は、ニッチな分野で独自の技術で世の中に貢献できるようにならないと、生き残れません。高精度プレス加工の技術を極め、オンリーワン企業として一体型グローバル生産で世の中に貢献していきたいと思っています。

を測定したらどうかなど我々には無い発想での提案や、社内には無かった評価方法を紹介していただけるといったことがあります。技

術力の幅を広げ、また事業化をスムーズに進める上でも、大いに役立つと考えます。

生産拠点—国内3、海外6拠点に広がるネットワーク



産業支援プラザへの期待

例えば技術的指導では、長期安定生産をするためにはどうしたらよいかというテーマで、振動波形

※サポイン事業

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポーター・インダストリー、通称「サポイン事業」）は、精密加工、表面処理や機械制御に係る技術等の特定ものづくり基盤技術 11 分野の向上につながる研究開発から試作までの取組みを、国が支援する制度です。滋賀県産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築からその申請手続き等の支援を一貫して行っています。

DATA

日伸工業株式会社

- 代表者 / 代表取締役社長 清水貴之
- 従業員数 / 国内 約370名、海外 約500名
- 本社 / 〒520-2152 滋賀県大津市月輪1-1-1
- 設立 / 1959年
- 事業内容 / 精密プレス部品の製造および組立、精密プレス金型の設計・製作
- TEL / 077-545-3011
- URL / <http://www.nissinjpn.co.jp/>



▲社屋外観。瀬田駅と国道に近く、アクセスのよいロケーション。

サポイン事業等の問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 連携推進グループ
TEL: 077-511-1414 担当: 山中 富田

支援企業インタビュー

高効率の省エネ照明器具で、人と地球環境に希望の灯りを届ける

株式会社セブンワンツリーズ

代表取締役社長 八木 孝行 さん

2007年、照明器具の企画製造販売会社として設立。光の反射率が95%という高性能反射板を用いた高効率・省エネの照明器具が市場で高い評価を受け、次々と販路を拡大。東証一部上場企業をはじめ多くのメーカーの工場・倉庫・オフィスや、ショップなどに設置されている。2012年には、海外拠点となる中国現地法人を天津市に設立した。



高効率の省エネ照明で快な環境を実現

御社の主力製品は？

高効率省エネ照明器具を用いた「照明による省エネのご提案」をしています。中心となる照明器具は、アルミ母材の反射板にチタン・シリコン等で特殊コーティングを施し、反射面をガラスのように加工した「高性能反射板」を用いて



▲高性能反射板を用いた照明器具「RE・Light」

反射板の構造



反射率の比較



この全反射率95%という驚異的な性能をもつ反射板は、機材と一体化しており、耐久性にも優れ、表面が黄ばんだり、剥げたりすることはありません。

メーカー品質保証10年

います。お客様が現在使用している照明器具用に反射板をカスタマイズして装着することも可能です。光の反射率が、従来の白色塗装反射板は60%、アルミ鏡面反射板が70%であるのに対し、この高性能反射板は95%と高いため非常に明るいのが特長です。従来より少ない台数の電灯で、同じまたはそれ以上の明るさを出すことができます。消費電力量を減らして電力料金を抑え、CO₂排出量の削減にも貢献します。基材と一体化しているので耐久性に優れ、メンテナンス費用も抑えられます。つまり、省エネで環境にやさしい照明器具です。さまざまな場所に設置できますが、とくに、使用電力の中で照明の占める割合が大きい倉庫内などへの設置に適していると思います。

顧客からの信頼とプラザの支援で海外進出を決断

海外での事業展開は？

当社の照明器具を高く評価していただいた顧客からの誘いがきっかけです。別の照明器具を使われていたのですが、試しに使っていただいたところ、明らかに当社の照明のほうが明るかったので。それで、工場の照明に採用していただき、中国・上海へ進出す

る際にお声かけくださったのです。

実は、私はそれまでパスポートを持ったことがなく、海外へは一度も行ったことがなかったんです。でも一生に一度は海外を見るのでもいいか、という気軽な思いで同行させていただきました。当時、中国の電気料金は1kwh当たり1元（日本円で約15円）で、日本と同程度の価格でした。ということは、全体の物価水準と比べると非常に高価だということです。工場が大きくなればなるほど照明の電気代もかさみます。それで、「上海で事業展開しないか」とお声がかかったんです。

それまで、海外でのビジネスなど考えたこともなかったので、かなり悩みました。現地法人の設立については、当社の取引銀行から、もう少し慎重に進めてはどうかと言われました。当時、中小企業の中国進出に関していろいろな問題が噴出していましたが、当社はまだ設立5期目でしたから、経営基盤を安定させてからのほうがよいだろうというご判断だったのでしょうね。

そんな中、プラザに「※国際ビジネス情報デスク」という海外進出に関する相談窓口があるということを知り、利用させていただきました。情報デスクのご担当者は

大手商社出身者ならではの豊富なご経験をもとに、冷静に中国でのビジネス展開の勝算を分析したうえで進出したほうがよいと積極的に勧められました。海外全般のビジネスのありかたはもちろん、特に中国でのビジネスの進め方について色々とアドバイスをいただき、本当に助かりました。また、人脈の中から中国でのビジネスに詳しい方をご紹介くださって、その方からいただいた助言も大変役立ちました。そんなことから「中国に打って出よう!」と決断すると、銀行も「そこまで熱意があるなら」と融資を認めていただき、現地法人の設立を具体的に進めていける環境が整ったのです。

そして2012年7月、当社としては初めての海外拠点となる中国現地法人を、天津市に設立しました。順調に滑り出しましたが、中国市場の景気停滞もあって右肩上がりの成長とはいかない状態です。ただ、いよいよ中国でもCO₂排出規制が始まりそうですので、CO₂削減に貢献する当社の照明器具の需要は、今後確実に拡大していくだろうと期待しているところです。

今後の展望は？

当社では、お客様がまた別のお客様をご紹介くださる、というケースが多々あります。「安心して紹介できます」と言っていただけののは、この上ない喜びです。それは、照明器具そのものを気に入っていただけた結果だと思のですが、それと同時に、企画からメンテナンスまで、お客様に合わせて照明器具を用いた省エネに関するご提案をさせていただいていることに、一定の評価をいただいているので

はないかと思っています。

お客様の信頼を裏切らないよう、まだまだ技術力を磨かなければなりませんし、長期的な観点からお客様にとって本当に良いものを選び、省エネという保守サービスも含め、いっそう奥行きと広がりのあるトータルサポートができるようになりたい。そのためには、業務体制の充実に傾注していく必要があると考えています。



▲倉庫の設置例 改修前 改修後
照明器具の台数200台→72台、平均照度345lx→377lx、年間使用電力63,360kWh→23,587kWh、年間電力料金1,077,120円→400,979円、CO₂排出量32,567kg→12,124kg
照度はアップしコスト削減率は63%と具体的効果をみせている

※国際ビジネス情報デスク

プラザでは、県内企業の海外ビジネスを支援するために、専門の相談員を配置し、各種サービスを提供しています。一つは、輸出入や海外投資に関する実務や制度に関するご相談に常時、無料でお答えします。また、貿易や投資で関心の高いテーマを選び、セミナーや実務講座を定期的で開催しています。

DATA

株式会社セブンワンツリーズ

- 代表者 / 代表取締役社長 八木孝行
- 従業員数 / 8名
- 本社 / 〒520-2331 滋賀県野洲市
小篠原2213-5 深尾ビル3F 1号
- 設立 / 2007年
- 事業内容 / 省エネ照明器具の企画・製造・販売、省エネ照明に関わるコンサルティング業務、自動販売機利用による防犯灯設置システムの提供(特許出願中)
- TEL / 077-586-3871
- URL / <http://71trees.co.jp/>



▲初の海外拠点として2012年に設立した中国現地法人の入居するビル(天津市)

国際ビジネス情報デスクの問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ 国際ビジネス情報デスク
TEL: 077-521-6638 FAX: 077-511-1418 担当: 高山 友成

支援企業インタビュー

新素材 BREATHAIR® (ブレスエア®) との出会いから経営革新し
飛躍的發展、夢は世界の OHMI

近江化成工業株式会社

代表取締役社長 小林 清 さん

1982年、ウレタンの加工メーカーとして創立。さまざまな軟質系樹脂素材の熱成形加工を手がける中で、クッション材の概念を覆す新素材、東洋紡 BREATHAIR® (以下ブレスエア) と出会う。以降を「第二創業期」と位置づけ経営革新に着手。得意の熱成形加工技術を用いてブレスエアを使用したマット、枕、シート等の商品や部材を製造し、売上げを飛躍的に伸ばしている。近年では、初のブレスエア専門オンラインショップ「爽快潔(そうかいけつ)リビング」を立ち上げるなど、新たな事業展開にも意欲的に取り組んでいる。



“天命”ともいえる ブレスエアとの出会い

ブレスエア加工に携わるようになった経緯は？

当社は、前社長である父が創業して以来ウレタンの下請け加工を行っていましたが、ウレタンは利益率が低く先行きは不透明でした。そこへ、当時補助的な事業だったブレスエアに、大きなチャンスが巡ってきました。ブレスエアのその特出した高機能が評価され、新型新幹線の座席用中芯材にブレスエアが採用されることになったのです。それまで培ってきた加工技術には自信がありました。しかし、長期スパンでの大きな契約となると、老夫婦の町工場で大丈夫だろうかとの不安が、先方や先代社長にあったのかもしれませんが。当時、私は光学機器メーカー

で新規事業開拓やマーケティングを担当しドイツ駐在中でしたが、ブレスエアの可能性に魅せられ、また子どものころから好きな鉄道に関われることや自分のビジネス経験が経営に役立つのではないかとの思いもあり、2007年に帰国して会社を継ぐ決心をしました。そして、ウレタン8割・ブレスエア2割という製造比率を、利益率が低いウレタン主体から脱却し付加価値の高いブレスエア中心に移行し、「第二創業期」としての経営方針に切り替えたのです。ブレスエアとの出会いは、まさに「天命」という気がしています。

ブレスエアの特長は？

ブレスエアは、樹脂繊維が三次元状に複雑にからみ合っているクッション材です。大きな特長としては、通気性、透水性、耐久性、抗菌性、などがあげられます。軽量で様々な形への加工が

可能で、クッション性を長期間キープします。当社ではこれを熱成形加工や一体成形加工技術で、枕やベッドパッド、靴のインソール等を製造しています。ムレにくく寝返りがうちやすいので、寝具に適しています。また、容易に洗えて、SEK基準に合格する菌の増殖を抑制する効果もあるので、医療や介護向け製品にも向いています。耐久性が求められる新幹線のシートや自動二輪シート等にも採用されています。さらに、その特長を活かすことで、水や電気の消費量を節約したり、ゴミ排出量を削減できますし、燃焼時に有毒ガスをほとんど排出せずケミカルリサイクルも可能です。環境に配慮した、無限大の可能性を秘めたクッション材といえます。

しが新事業応援ファンドが チャレンジを後押し

プラザの「**しが新事業応援ファンド**」を活用されていますね。

高齢者・介護用品、シニア犬、整体用品の商品開発等の新事業推進のために活用させていただいています。最初、この事業が適用されないのではないかという心配がありました。プラザの担当の方にいろいろ調べていただいたとこ



▲BREATHAIR®の断面。
密度・厚み・大きさの調整により、ニーズに応じた製品設計ができる。



▲ブレスエアの灯り。アートやデザイン分野でも注目を集めている。

る、申請できるということがわかり、手続きなど詳しく説明していただきました。新しい分野には、意欲はあっても、なかなか投資に踏み切れません。しが新事業応援ファンドの資金的サポートのおかげで、一歩踏み出して新しいことにチャレンジすることができました。開発や製作はもちろんですが、実はマーケティングが一番、パワーやお金がかかるといいます。ファンドがそこもカバーしていただくとさらにありがたいですね。

「企画・開発・製造」できる「メーカー」の強みを活かしながらオリジナルブランドで商品化する。そして「流通」を自ら押さえるネット直販システムで、お客さまと直結する「21世紀型メーカー」を目指しています。滋賀の近江から世

界のOHMIへ。オンラインショップ「爽快潔（そうかいけつ）リビング」はその第一歩です。モノを作る技術を極めながら、健康で快適な生活環境を提案できる企業へ、展開していきたいと考えています。

健康で快適な生活環境創造 企業を目指して

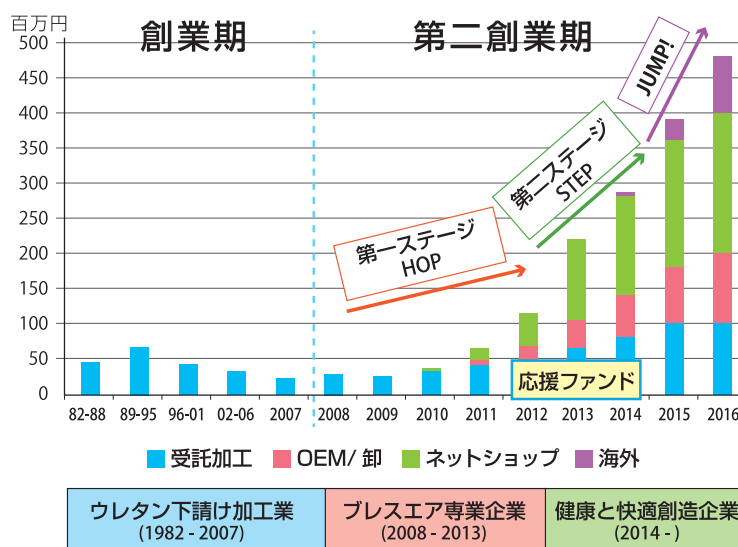
今後の事業展開は？

世の中に今までない「モノ」を、



▲プレスエアー枕。熱成形加工により、3次元立体形状などさまざまな形の製品への加工が可能。

創業期から第二創業期への事業内容の推移



※しが新事業応援ファンド助成金交付事業

地域ブランド力の強化や地域経済の活性化を図るため、地域資源を活用した新しい商品やサービスを創出するための研究開発（企画検討や試作開発）の取り組み、および開発を完了した後の販路開拓の取り組みを支援します。

プラザでは、しが新事業応援ファンド助成金申請時、事前に質問や相談を受け付けています。

DATA

近江化成工業株式会社

- 代表者 / 代表取締役社長 小林清
- 従業員数 / 20名
- 本社 / 〒529-1404滋賀県東近江市宮荘511
- 設立 / 1982年
- 事業内容 / プレスエアー[®]素材を活用した加工業務全般、中型平押圧縮熱プレス機を活用した軟質樹脂系素材加工全般(ウレタン、不燃布、硬綿等)、軟質樹脂系素材の熱成形用金型製作
- TEL / 0748-48-4461
- URL / <http://www.ohmikasei.com/>



▲近江化成工業本社工場

しが新事業応援ファンドの問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援グループ
TEL : 077-511-1412 FAX : 077-511-1418 担当: 植野 湯浅 徳久

プラザ25年度事業成果レポート

■ 情報支援グループ

セミナーの開催とIT専門家の派遣 ～企業の情報化のために～

企業の情報化を応援するIT活用セミナーで、12テーマ465人の参加がありました。中でも、インターネットショップ革新セミナー、情報マネジメント高度化セミナー、Web創作セミナーなどでは、参加者から高い評価がありました。また、IT・生産効率向上セミナーは、主に生産現場の効率化を目的に開催したのですが、「会社に帰って、すぐに実践できる」「具体的な取



り組み方が聞けて挑戦しやすい」など、積極的に評価する声を多くいただきました。今年度も引き続き、『常に新しい視点を届ける実践的セミナー』をキーワードに、皆さんから「参加してよかった」と言っていたいただけるセミナーを開催していきます。

IT 専門家派遣については、機器製造業の A 社さん、アパレル業の B 社さんなどの要請により、情報システムの構築や再構築に直結する指導を行っていただきました。今年度は、それらによる改善型の情報システムがすでに稼働しており、事業



利用者に大変喜んでいただいています。

■ 連携推進グループ

平成25年度課題解決型医療機器等開発事業(経済産業省委託事業)～開発へのネットワーク化支援～

現在の医療現場における血液検査の課題として、結果がわかるまで時間がかかることや検査が簡単に行えないこと、必要量以上の採血が行われることなどがあげられています。これらを解決するための検査システムの開発が経済産業省の委託事業に採択されました。

平成 28 年度の事業化を目指して、採血をしたその場で結果がわかり、一滴の血液で同時に多項目の検査を簡単に実施できる、安価でコンパクトな検査システムについて、プラザが事業管理機関となって開発を支援しています。

血液一滴で高度な診断が可能となる デスクトップ型血液分析装置

患者・医療者双方の負担が大きい従来の血液検査

従来の装置

- 大型
- 高価
- 前処理が必要
- 移動できない
- 採血量が多い
- 時間がかかる

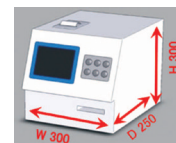


簡便に複数項目の検査が可能な血液分析装置

- 検査時間が短い。(目標：10分)
- 煩雑な前処理が不要。(血液一滴をカートリッジに入れるだけ)
- 多項目の検査が同時に実施可能。(5項目を想定)
- 汎用試薬が使用可能かつ装置が比較的安価。
- 少量の血液・試薬で検査可能。(採血量：0.05mlを想定)

開発イメージ

- デスクトップ型
- 比較的安価
- 前処理が不要
- 世界市場に展開
- 生化学・免疫・電解質項目を同時に検査
- 短時間で結果がわかる
- 血液一滴で検査可能



(公財)滋賀県産業支援プラザ、ニッタモールド(株)、神港精機(株)、NSマテリアルズ(株)、旭光電機(株)、ニプロ(株)、立命館大学、滋賀医科大学

■ 創業支援グループ

しが新事業応援ファンド助成金交付事業 ～企画検討から販路開拓までの資金支援～

「しが新事業応援ファンド助成金交付事業」は平成20年度より実施し、5年が経過しました。これまで県内全域から266件の応募があり、うち166件を採択しています。販売開始した事業者は59社で、累計売上額は9億円を超えました。

そのなかで、当プラザが運営するインキュベーション施設に入居している企業も、この応援ファンドを活用し、業績アップを図ろうとする取組が見られました。

合同会社アシユトック（創業オフィス入居中）は、

世界最小・最軽量のデジタル航空写真撮影システムの開発事業（新規）で、合同会社シンプレスト（米原SOHO入居中）は、麴版無線式温度管理システムの開発事業（新規）で、株式会社パルスパワー技術研究所（テクノファクトリー入居中）は、可搬型非破壊検査用小型高電圧パルス電源開発事業でファンド採択を受けました。滋賀の地域資源を活用した試作品が、このファンド支援によって、いち早く事業化されることを期待しています。

ファンド活用事例 平成25年度販売開始品



いぶき大根漬物

いぶきファーム様



なばなの佃煮

おうみ富士農業協同組合様



EV充電スタンド

スターエンジニアリング(株)様



AR用ディスプレイ商品

(有)田中印刷所様

■ 経営・国際ビジネス支援グループ

ビジネスマッチング ～一つの出会いから新商品販売へ～

プラザでは、さまざまな取引の開拓を図るため、ビジネスマッチングを行っています。

コラボしが21 インキュベーションオフィスに入居の「Y's Design Lab」代表山下祥一さんは、商品企画、デザイン開発のコンサルティングをされています。以前からプラザで開催される、セミナー等に積極的に参加されています。

その一つに昨年開催した「マッチングセミナー in 近江八幡」では、交流会の中で、知り合われた企業から後日カタログ作成の依頼があり、新しいビジネスの発展につながりました。



また、プラザの推薦を受けて出展された「※神戸ビジネスアライアンス」では、滋賀県の企

業と情報交換を通じて当時開発中の製品の部分加工の依頼ができ、新商品の開発が出来ました。

また、中小企業やデザイナーなどいろいろな企業がコラボレーションし、MADE IN SHIGA「スマートフォンスタンド」を販売されました。



プラザでは、これからも普段接することが少ない様々な地域・業種の企業と交流を図ることにより、販路開拓・事業提携などのビジネスマッチングを生み出していきたいと考えています。

なお、平成26年度「マッチングセミナー in 長浜」は10月23日(木)長浜バイオ大学で開催します。みなさまのご参加お待ちしております。

※ 神戸ビジネスアライアンスは、事業に独自性などの特徴がある西日本の企業が一堂に会して、個別商談や商品等の展示、交流を行うビジネスマッチングイベントです。

インフォメーション

10月は滋賀の"ちいさな企業"応援月間です。県では、10月を『"ちいさな企業" 応援月間』に定め、支援策や諸活動を積極的に実施し、中小企業への施策の周知および活用の促進を行ないます。プラザは下記の事業を行いますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

コラボしが21 展示ギャラリー 展示企業募集

■ 目的

展示ギャラリーは、中小企業、ベンチャー企業の新製品、新サービス、新技術等、販路拡大や技術交流の促進を図るためコラボしが21の1階に設けているものです。今年度は、10月に県と支援機関等とが連携し、フォーラムや説明会を集中的に実施することで、関係条例や支援施策等の周知の強化を図ります。

その一環としてコラボしが21の1階にある展示ギャラリーでは、県内の小規模事業者による製品、新サービスおよび新技術等の展示を企画しているところです。販路拡大や技術交流にぜひ積極的にご活用ください。



展示イメージ図

■ 対象となる方

滋賀県内に事業所を持つ中小企業企業・団体

■ 展示ギャラリー概要

展示期間	10月2日(木)～10月30日(木)(土、日、祝日は休館)
展示時間	午前9時から午後5時30分まで(管理人・案内人は設置いたしません)
会場場所	大津市打出浜2番1号 コラボしが21 1階
展示面積	展示台(W900×D600×H730)×2スペース分(ギャラリー全体は、7m×7m程度)
備品等	展示台(2台)、サインスタンド(1脚)※各企業
使用料	無料
募集数	8企業
資料提供・広報支援	滋賀県内マスコミ28社(新聞社、放送局)に資料提供します。 プラザホームページ、メルマガに掲載します。

■ 展示申込

お電話でお問い合わせください。

提出書類は下記になります。

- 「展示ギャラリー申込書兼備品借用書」(<http://www.shigaplaza.or.jp/tenji/> からダウンロードできます)
- 展示内容がわかる資料(パンフレット、ホームページのプリントアウトなど)

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 総務企画部 情報支援グループ

住所：〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 2階

TEL：077-511-1411 FAX：077-511-1418 担当：田代 橋本

セミナー・マッチング会の開催

マッチングセミナー in 長浜

参加費
無料

■ 日時：2014年10月23日(木) 13:30~17:00 ■ 場所：長浜バイオ大学(長浜市田村町1266)

【内容】

- ① 講演 法人というカタチをした企業連携
~各社が責任を持つからこそ社員教育まで踏み込めた~
(ケイオスの情報発信、情報運用、社員教育)

<講師> 株式会社大阪ケイオス 代表取締役副社長 原田 徹朗 氏

- ② マッチング交流会

名刺交換・情報交換を通じて、同業種・異業種の企業とのヨコのネットワークを作るチャンスです!



しがビジネスマッチング会&出張相談会 in 長浜

■ 日時：2014年10月29日(水) 12:00~17:00 ■ 場所：北ビワコホテルグラツィエ(長浜市港町4-17)

【内容】

- ① ビジネスマッチング会 13:00~17:00

発注企業と受注企業による個別予約面談(事前予約制、面談時間1社20分)

- ② 出張相談会 12:00~17:00

プラザ相談員による相談会(販路開拓、経営改善、資金調達、助成金、国際ビジネス 等)



実務講座

1 「EPAの最新情報と原産地証明書の取り方」

講師：大阪商工会議所 麻野 良二 氏
日時：平成26年9月12日(金) 13:30~17:00
場所：コラボしが21 3階 中会議室2

2 「貿易実務基礎講座」

講師：株式会社アースリンク
日時：平成26年10月17日(金)、24日(金) 13:30~16:30
場所：コラボしが21 3階 中会議室2



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営・国際ビジネス支援グループ

住所：〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 2階

TEL：077-511-1413 FAX：077-511-1418 担当：谷口 千代 伊藤

インフォメーション

しが新事業応援ファンド助成金交付事業 (平成27年度募集案内)

主旨

「しが新事業応援ファンド」は地域資源を活用して新しい商品やサービスの開発に取り組む中小企業等を支援し、地域ブランド力の強化や地域経済の活性化を図ることを目的とした助成金です。

信楽焼
(ファンド募集で開発された試作品)



概要

1 募集期間

- 第1回 平成27年1月5日(月)～平成27年1月23日(金) 17時まで
- 第2回 平成27年7月1日(水)～平成27年7月24日(金) 17時まで

2 対象要件

助成金に応募するには下記の【地域資源】を活用した開発事業であることが要件となります。

地域資源とは下記のことをいいます。

- ① 地域の特色のある農林水産物または鉱工業品(農林水産加工品を含む)
- ② 当該鉱工業品の生産に係る技術
- ③ 文化財、自然の景勝地、温泉その他の地域の観光資源

3 助成対象等

	対象事業	対象者	助成率(助成額)
開発事業	地域資源を活用した新たな商品・サービスの開発を図る事業のうち、下記の取組 ○ 調査研究など企画検討の取組 ○ 研究開発や試作開発などの取組	○ 滋賀県内において創業を行う者、中小企業者または中小企業者のグループ ○ 中小企業者以外の者で、NPO法人や任意グループ等滋賀県内において自ら事業を行う者	○ 助成率:原則として2分の1 ○ 助成額:上限300万円/年 ○ 助成期間:最長3年 ただし、県が指定する地域産業資源を活用する事業であって、審査委員会が認めるものは助成率3分2を適用
販路開拓事業	地域資源を活用した新たな商品・サービスの販路開拓や拡大を図る取組	上記開発事業を終え、新商品・サービスが完成した事業者	○ 助成率:原則として2分の1 ○ 助成額:上限200万円/年 ○ 助成期間:1年 ただし、県が指定する地域産業資源を活用する事業であって、審査委員会が認めるものは助成率3分2を適用
支援事業	上記の取組を支援する事業	上段の中小事業者への支援を行う者として知事が認める者	○ 助成率:2分の1 ○ 助成額:上限100万円/年 ○ 助成期間:1年

4 助成予定件数 年間35件程度(平成27年度)を予定しています。

5 審査方法 提出された事業計画書について、審査委員会で一次審査および二次審査を実施します。

問い合わせ先・応募書類提出先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援グループ

住所: 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 2階

TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418 E-mail: in@shigaplaza.or.jp 担当: 植野 湯浅 徳久

しが新産業創造ネットワーク 平成26年度第1回マッチングフォーラム

日 時：平成 26 年 9 月 4 日（木） 14:00～ 18:20（含む、交流会）
場 所：コラボしが 21 3 階 大会議室（滋賀県大津市打出浜 2-1）
対 象：県内企業経営者、行政機関・大学・公設試験研究機関・経済団体関係者等
人 数：200 名（事前申込みによる先着順受付）
参加費：無料（但し、交流会は、1,000 円/人 [当日受付時に徴収]）
主 催：（公財）滋賀県産業支援プラザ、滋賀県



地域の強みを活かした付加価値創造型による新技術、新産業のさらなる創出を目指して、当産業支援プラザと滋賀県では、“モノづくり基盤技術”“環境”分野における研究開発や新事業創出に意欲的な企業、大学および研究機関等を対象とした産学官金連携の結びつきを強化するとともに、次代を担う新事業の芽を発掘し、成長発展を目指す「しが新産業創造ネットワーク」を組織し、事業推進を行っています。

今回は、県内に工場を持つ株式会社村田製作所様の「成長戦略」をお聞きするとともに、東北大学発の実用化が加速している「金属ガラス」をご紹介します。新たなビジネス展開や新製品開発につなげるニーズとシーズの出会いの場を提供します。

プログラム

時 間	内 容	講師等
14:00～	あいさつ	滋賀県商工観光労働部
特別講演		
14:05～ 15:05	「村田製作所の成長戦略」	株式会社村田製作所 広報室 室長 野村 佳弘 氏
講 演		
15:05～ 15:50	「加速する金属ガラスの実用化」	東北大学金属材料研究所 附属研究施設関西センター 教授 早乙女 康典 氏
休 憩（15:50～16:05）		
リレー企業紹介（16:05～17:05）		
16:05～ 16:25	「セルローズナノファイバーからなる新規増粘剤 “レオクリスタ®”の紹介」	第一工業製薬株式会社 機能化学品研究所 課長 神野 和人 氏
16:25～ 16:45	「CIMによる精密なセラミックス部品の 製造について」	宮川化成工業株式会社 開発事業部 課長 上杉 直輝 氏
16:45～ 17:05	「みらいをサポートする当社の スマートエネルギー事業」	スターエンジニアリング株式会社 システム技術部 部長 高橋 憲久 氏
交 流 会（17:20～18:20）		

問い合わせ先

（公財）滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 連携推進グループ
住所：〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 2階
TEL：077-511-1414 FAX：077-511-1418 担当：福井

プラザが滋賀医科大学と 協力推進の協定を締結しました。

このたび、国立大学法人滋賀医科大学とプラザとは、相互の協力関係を強化し、地域社会の発展に貢献することを目的として、以下のとおり協定を締結することとし、同大学の塩田学長とプラザの田口理事長による調印式を滋賀医科大学にて行いました。

これまでの協力関係をさらに深め、緊密な情報交換やお互いの強みを活かした共同事業などを実施してまいります。

協定の名称

「国立大学法人滋賀医科大学と公益財団法人
滋賀県産業支援プラザの協力推進に係る協定」

協定締結日

平成 26 年（2014 年）6 月 20 日（金）

協力事項

1. 研究成果等のシーズの地域産業への活用
2. 地域産業の技術ニーズの情報収集及び情報提供
3. 地域社会の産学官連携活動に資する人材の育成
4. その他合意した事項



公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号
コラボしが21 2階

TEL 077-511-1410 (代表)

FAX 077-511-1418

E-mail info@shigaplaza.or.jp

URL <http://www.shigaplaza.or.jp/>



- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分 (JR膳所駅/JR石山駅乗り換え)

(編集後記) うちでのこづち取材では、企業様先におじゃまし、いろいろなお話しをお伺いしています。企業理念や製品開発の苦労話だけでなく、プラザの支援活動にも話がおよぶことがあります。熱き思いの中、改善点をご提案していただくことも少なくありません。その一つに「うちでのこづち」は、印刷物にすればもっと読んでもらえますよ」というご指摘があり、本年度から電子ブックだけでなく印刷物を刊行する運びとなりました。ぜひ、この冊子を手にとり、ご覧ください。プラザの各種支援をうまく使っていただくヒントが載っております。この機会にプラザの活動をご理解いただき、いろいろな支援を有効にご活用していただければと願っています。